

# 13150 社会保障政策

## 序論

4月9日(月)

### 【教科書】

- ・堀勝洋編『社会保障読本(第3版)』, 東洋経済新報社  
授業にのぞむ前に読み, 基礎知識を身に付ける目的で使用する

### 【参考書】

- ・岩村正彦・菊池馨実編『目で見ると社会保障法教材(第3版)』, 有斐閣
- ・小塩隆士『社会保障の経済学(第3版)』, 日本評論社
- ・以上を, 講義内容に合わせて, 適宜使用参照する。
- ・その他, 必要な文献は適宜, 指示する。

**【科目の性質】**

- ・経済政策コースの科目として、経済分析の視点を重視する。政策についての抽象的思考に加え、制度・データの実理解、現在の政策課題にも触れる。

**【他の授業科目との関係】**

- ・「経済学基礎」または「ミクロ経済学」の知識を前提とする。
- ・若干の数式の展開はあるが、多用しない。

**【成績評価の方法】**

- ・期末試験(60%)、レポート(1回, 30%)、授業での発表・平常点(10%)で評価する。

**ウォーミングアップの問い**

社会保障負担は経済成長を阻害するか？

国民負担率、潜在的国民負担率とは何か？

社会保障の負担とは何か？

国民純負担率とは何か？

社会保障の便益とは何か？

社会保障は何をしているのか？

機能的理解

制度的理解

## 社会保障の便益の計測方法

社会保険を例にとる。

保険料の大半は保険給付になる。カネの流れを見れば、所得移転。

何のための支出？ 保険の便益

社会保険がなければ、民間保険が成立するかもしれない。かりに完全に民間保険にとってかわるものであれば、社会保険の意義はない。

どれだけが民間保険にとってかわったか？

クラウドイングアウト

## 【注意】

配付資料は、講義の内容をまとめたノートではなく、板書の時間を節約するための工夫であると理解されたい

【キーワードに関する問い】(堀・第1～3章)

福祉国家とは何か？

社会保障とは何か？

社会保険、公的扶助、社会手当とは何か？

保険原理、扶助原理、福祉原理とは何か？

社会連帯の位置付けは？

どのようなリスクをカバーするのが政府の役割なのか？

自賠償は社会保障か？

社会保障とは

前史

・救貧法 イギリス

・社会保険 ドイツ・ビスマルク

「Beveridge Report」(1942年) 社会保障(Social Security)

【参照】堀(第1～3章), 岩村・菊池(I・1)

社会保障の制度的理解につながる問い

「わが国では社会保障にいくら支出しているか？」

社会保障の骨格

・所得保障

・基礎的サービス(医療・福祉)

社会保障政策・第1回

7

社会保障は「政策」＝「政府による介入」

「なぜ社会保障が必要？」

経済学の考え方(例・Mankiwの10原理)

#6 Markets are usually a good way to organize economic activity

#7 Governments can sometimes improve market outcomes

・混合経済での市場と政府の役割はどのようにして決まるのか？

市場が機能すれば, 効率的な資源配分が達成される。

市場がうまく機能しないこともある(市場の失敗)。

市場の失敗があれば, 政府がとってかわるべきか？

かならずしもそうでない。政府も失敗することがある。

社会保障政策・第1回

8

市場が失敗しているときの政府の出番は、市場の失敗が政府の失敗より大きいとき。政府の役割は、つねに市場と政府の相対評価で決まる。

市場が機能しない場合

1. 市場が失敗して、効率的な資源配分が達成されない
2. 望ましい所得分配が達成されない
3. 経済主体の選択が適当でない(温情主義paternalism)

社会保障のあるべき姿を決める問い

- ・「どのような市場の失敗？」
- ・「民間保険ではだめなのか？」
- ・「医療サービスは平等が望ましいのか？」

社会保障政策・第1回

9

「市場の失敗」

- 1 不完全競争
- 2 公共財
- 3 外部性
- 4 不完備市場
- 5 不完全情報
- 6 失業, マクロ経済的攪乱

「政府の失敗」

政府が全知全能ではない理由

- 1 情報の制約
- 2 政策手段の制約
- 3 官僚制の弊害
- 4 政治過程の弊害

【参照】スティグリック, 『公共経済学』, 東洋経済新報社

社会保障政策・第1回

10

- ・基礎的サービスを政府が保証する理由は、厳密には「市場の失敗」には分類されない。(例えば、スティグリッツ、『公共経済学』を参照)
- ・市場では、低所得者が基礎的サービスの消費をあきらめることがある。
- ・それが社会的に容認されない場合に、政府が介入する。

#### 経済学での根拠

- ・特殊平等主義(specific egalitarianism) ある種の財・サービスは平等に消費されなければいけない
- ・温情主義(paternalism) 消費者が正しくない選択をすることを防ぐ

#### 基礎的サービスを保障する手段

例えば、医療保障の手段は国によって異なる

- ・イギリス 無償で政府が提供
- ・米国 現役世代は民間の責任で(無保険の問題を生む)
- ・日本・ドイツ 社会保険